障子のはなし

障子の歴史

日本古来の建具である障子は、平安時代、襖から発展して、明かり障子として、工夫考案されました。
障子の「障」は「遮る」「隔てる」「塞ぐ」などの意味を持ち、元々は室内の境に建てる建具を総称して「障子」といわれていました。
古い時代では現代の襖を「障子」、今の障子を「明かり障子」と呼んで、区別していました。
隔てと採光の機能性を十分満たし、しかも寒風を防ぐ建具の障子はそれ以後、現代に至るまで使われ続けています。

障子ってこんなに優れもの！

障子の美しさと機能性をあらためて考えて見ましょう。

1. 柔らな障子のあかり。
半透明の和紙は、直射日光を適度（4～50％）遮ります。そしてその光は、和紙で拡散され、部屋全体を均等に明るくします。
コントラストをやわらげた光は目にも優しい明かりです。

2. 自然の素材で作られた障子。
今の時代、いろいろな意味で自然素材が見直されています。木と紙で作られた、そして糊さえも、障子は自然に優しい素材で出来ています。

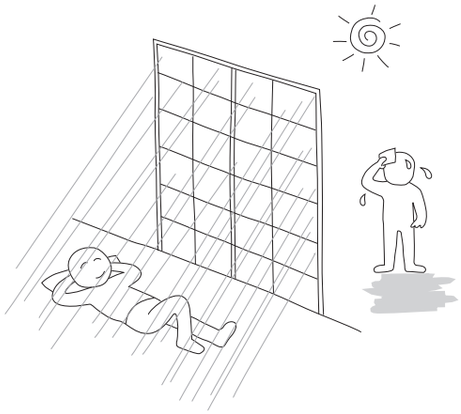
3. 何度でも簡単に新しくできる。
障子は、使われている和紙を自分で簡単貼替えできる、というのも特徴の一つです。水で濡らすだけで取り外せる和紙。簡単に手に入る和紙。新しく張り替えた障子で、気持も新しくするというのは日本人の文化なんですね。

4. シンプルなフォルムが現代のインテリアにも合う。
障子のの軽さや、細い線の構成は、直材で構成された日本家屋、又、今のモダンインテリアのシンプルさにも通じています。数百年を経て、完成された日本美の一つでしょう。

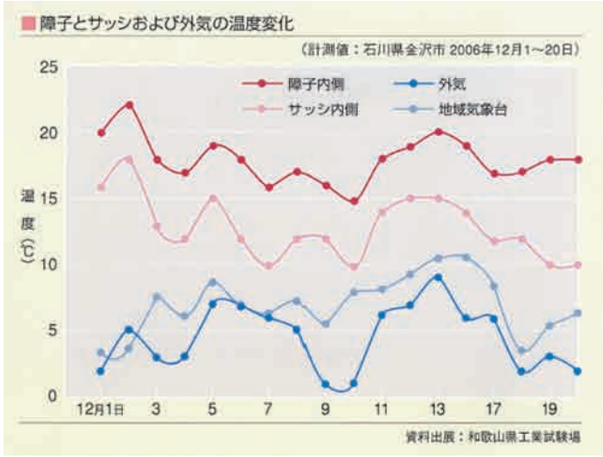
5. 省エネ効果が大きい。
冬暖かく、夏涼しい障子は、冷房時には、日射による室温の上昇を防ぎますし、又、暖房時には、夜間の放射冷却を防ぎますので、省エネの効果が非常に高いものです。
又、本体の木というのは、金属に比べて熱伝導率の低い材ですので、この点でも、障子を始めとする木製建具は、断熱、放熱による熱損失の面で有利です。
特に窓における内障子の場合には、外部からの視線を遮ったまま採光出来る為、ガラス戸と併用することで、冷暖房効果を格段に高めます。

6. 空気をコントロールします。
和紙の持つ多孔性という特徴は、自然に換気と空気の清浄化を行ないます。
それに吸湿性もある為、湿度の高い日本の住宅には適したものなのです。

あたらめて考えてみると、障子って実に素晴らしい所をたくさん持っている日本が誇る家の部品なのですね。



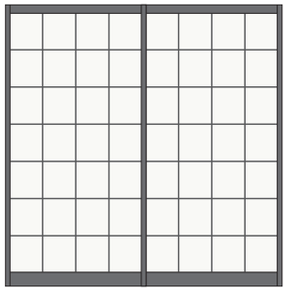
■ 障子の効果を調べたデータです。



障子の種類

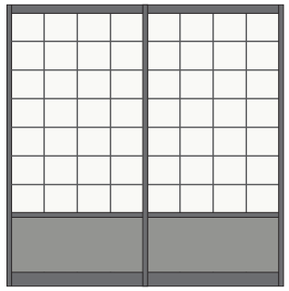
■ 障子の形状から

水腰荒間障子



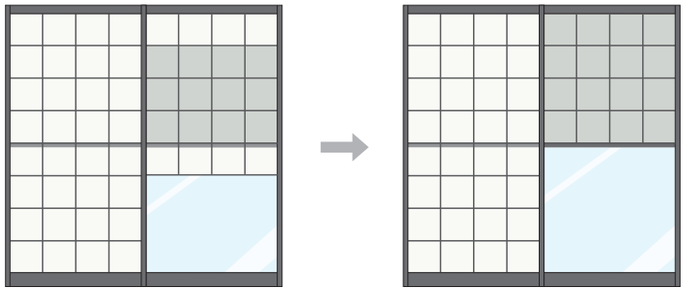
腰板のない障子で、現在は
ほとんどがこのタイプです。

腰付荒間障子



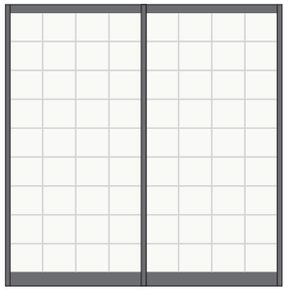
下部に35cm位の腰板を貼った
ものです。

摺り上げ障子



障子の下半分に一枚ガラスを嵌め、框に溝を付けて、小障子を上げ下げ
出来るようにしたもの。関東地方では猫間障子ともいう。

両面紙貼り障子障子

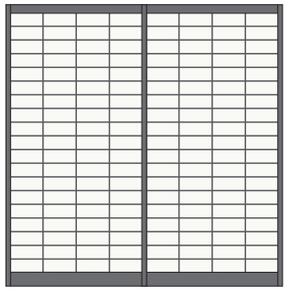


組子の両面に障子紙を貼ったもの
で、太鼓貼りともいう。一枚貼り
よりも断熱効果は1.5倍となる。

障子は全て、
家に合わせた特注品です。
新しく、家の障子を頼まれる時、
自分で好きな種類の障子を選んで
作って貰いましょう。
そんな注文を聞いてくれるのが、
町の建具屋さんなのです

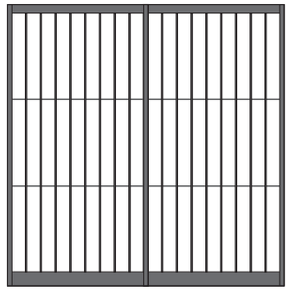
■ 組子の形状から

横繁障子



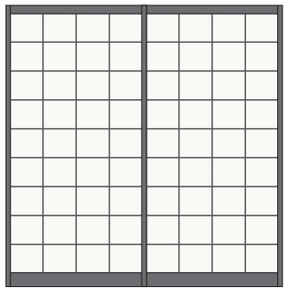
横組子を多く入れた障子。
関東地方で多く好まれる。

縦繁障子



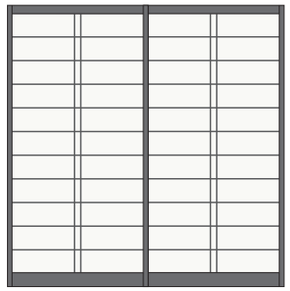
縦組子を多く入れた障子。
関西地方で多く好まれる。

荒間障子



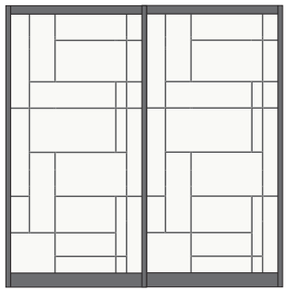
大荒間ともいう。組子の間隔を
大きく開けたもの。

吹寄障子

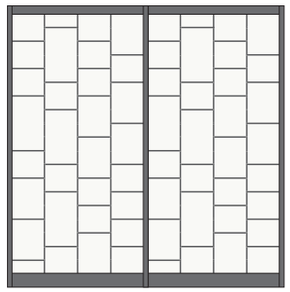


縦組子の間隔を片寄せしたもの。

デザイン障子



デザイン障子



変わり障子とも言います。組子を自由にいろいろなカタチに組んだもの。
あるいは、組子を不規則に配置して組んだものをいいます。

現代の障子のある空間

サンデッキへの開口部、廊下への開口部、さらに、天井にも障子枠が仕込まれた照明と、障子を暮らしの中に積極的に取り入れられた、佐賀市内のお住まいです。

障子が合うのは和室だけではありません。
洋間につけられた大きな障子窓により、
お部屋は明るい透過光で包み込まれます。

腰付き障子の中に仕組まれた半分の障子によって、円形の中窓を開閉できるという雪見障子の変わり版。

「陰翳礼讃」。谷崎潤一郎が日本家屋の陰翳の中に美を見い出したのは80年前のこと。
同時期、ブルーノ・タウトが「ニッポン」という著書の中で、障子の素晴らしさと、美しさについて語っています。
畳や障子、我々が今も、当り前のもののように使っているものは、実は、世界中も羨むほどの、完成されたインテリアの道具なのです。

使わないときは開けて、大きな空間にする。
閉じても、半透過光をもつ和紙のパーティションは、圧迫間を感じさせません。
個室としての確固たるプライバシーをもつ空間ではなく、気配を感じる曖昧さを大事にするという、障子には、日本人の精神性が表われています。

柔らかな明かりを取り入れ、風を防いで、寒さ暑さからは、隔離され、室内に居ながら、外の景色を眺める。
こんなことが出来る建具も障子ならではの機能。